

2面
活で増収
算を読む=コモ
5面
サービス
目談をスタート

きょうの紙面



ファン・イレブンがメンズシ
ユーズ市場に参入し4面

岐阜
檜創建、木製浴槽に新シリーズ
素材生かし高級感ある空間演出
三重
三重企業、地域住民向けイベントに力
相互理解促しファン拡大狙う



2019年(令和元年)
11月12日
火曜日

発行所
中部経済新聞社
〒450-8561
名古屋市市中村区
名駅4-4-10
編集局 052(561)5212
読者開拓局 052(561)5216
広告部 052(561)5213
事業部 052(561)5675
総務部 052(561)5215
東京支社 03(3572)3601
©中部経済新聞社2019
購読のお申し込み
☎0120・605・123

技術の進歩が、未来の一步。
今日の最先端を、明日の標準に。
テクノロジーのイビデンです。

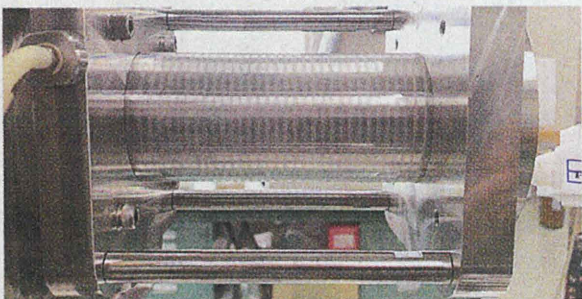
イビデン株式会社
http://www.ibiden.com

チップトン 新方式の攪拌装置開発 テイラー過流で ナノ素材生成 医薬品向け提案

研磨機メーカーのチップトン(本社名古屋市中村区豊田3の19の21、小林史明社長、電話052・691・5177)は、ナノ素材の生成などに使える新方式の攪拌(かくはん)反応装置の実用化に成功した。実機開発は世界初という。売上高の約8割が研磨機関連で、新製品を新たな収益の柱に育成する考え。医薬品や化学、食品など今後ナノレベルでの開発が見込まれる業界に売り込む。

(吉川英司)

新たな収益の柱に育成



開発したのはテイラー過流連続式攪拌反応装置「テイラー・ボルックス・フロアー(TVFF)」。テイラー過流とは、固定したパイプの内側で別のパイプを回転させ、その隙間に液体を流すと液体がリング状の渦を作り、隣り合った渦は、お互いに逆向きに回転しながら流れる現象。この渦を利用するとパイプ内

テイラー過流でリング状の渦を作る均等な力で混ぜ合わせる

開発したのはテイラー過流の液体全体を均等な力で混ぜ合わせることができ

渦の強さや流れの速さは、パイプ間の隙間の取り

方々、装置への液体の注入速度を調整することで、化学反応を起こす時間など精密にコントロールできる。液体を外部から注入



小林史明社長



開発したテイラー過流連続式攪拌反応装置

し続ける方式なので、従来の攪拌機では難しかった連続生産も可能になった。

開発部機械開発室の加藤海里主任は「テイラー過流方式は以前から大学などで研究が続けられているが、産業用の実機開発はおそらく当社が世界初」と話す。

主な用途は、複数の原料液を混合して化学反応させることや、固形材料の液体内への分散、油性と水性の高度な混合(乳化)などに

使えるという。

例えば、化学反応による結晶化でナノ素材を生成することが可能。製薬メーカーには水に溶けにくい薬剤を微粒子化して、人体に吸収しやすくするなどの利用も提案する。

ATグループ
クラウン自動車
来月 6月 二輪教習

愛知トヨタ自動車を中
は、四輪車・二輪車教習
校(東海市)を2020
少子化など自動車教習所
加え、指導員の確保が困難
が理由。これにより、知
習所はゼロになる。

